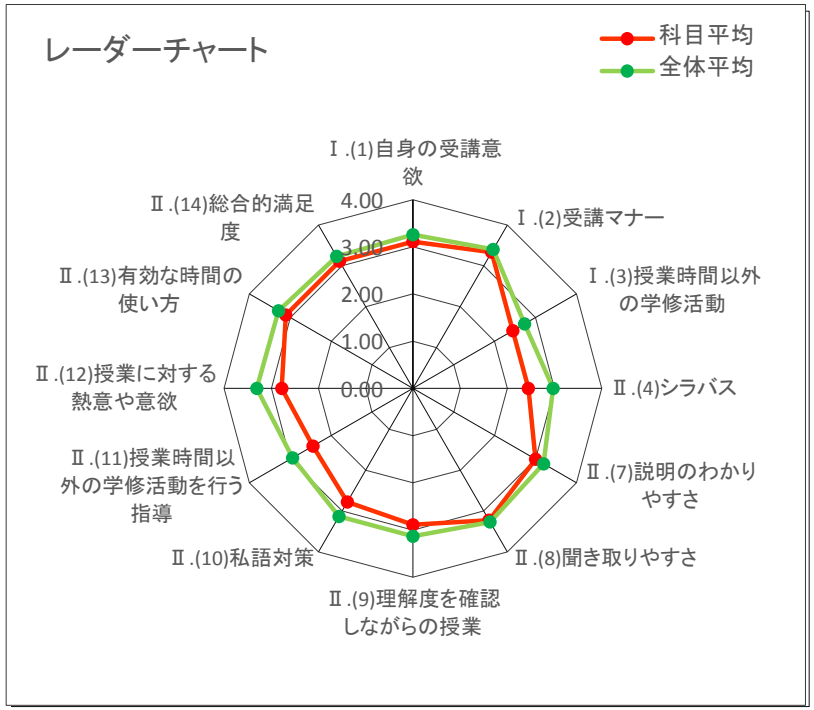
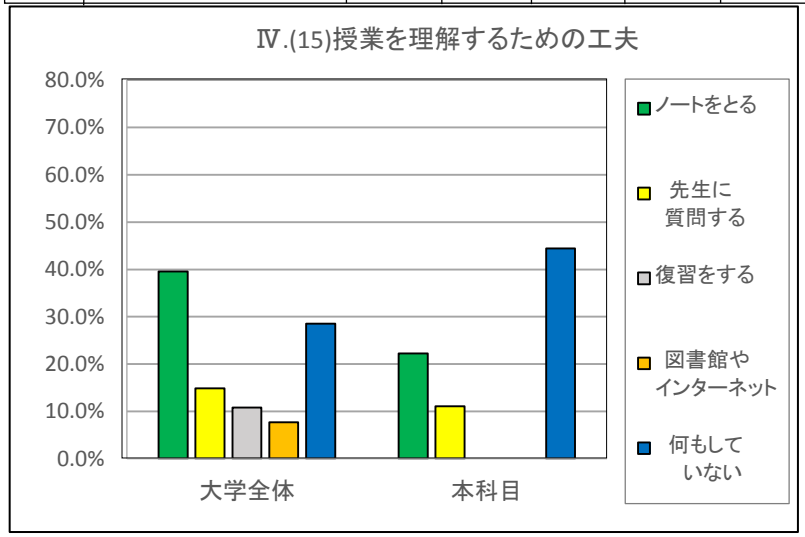
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.11	3.26
	Ⅰ.(2)	3.33	3.40
	Ⅰ.(3)	2.44	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.44	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.00	3.20
	Ⅱ.(8)	3.22	3.27
	Ⅱ.(9)	2.89	3.13
	Ⅱ.(10)	2.78	3.13
	Ⅱ.(11)	2.44	2.94
	Ⅱ.(12)	2.78	3.31
	Ⅱ.(13)	3.11	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.11	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	44.4%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	2.96	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	2.83	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.11	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	41301/41351
科目名	基礎英語Ⅱ/英語コミュニケーションⅡ
教員名	

①授業計画の達成度について

昨年と同一教材で授業を実施したが、難易度が高いと感じる学生が多かったようだ。しかし、難易度が低いという項目にも同じぐらい回答があり、レベルの定まらなさを感じさせた。シラバスの有効利用が低い点については、今年度から紙媒体ではなくデジタルデータのみとなったことが、この授業にとどまらず利用度を下げたのではと考えている。

②授業の進め方について

例年にくらべて時間がかかり、予定の学習内容をこなすのが精一杯（時には次回に持ち越し）だったため、説明や理解度の確認が急ぎ足になった部分があった。私語は比較的少ないクラスだったが、それでもうるさいと感じる学生がいたようで、座席指定などの対策を施すべきであった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

全体として満足度が低く、とりわけ授業時間以外の学修活動ができていないことは反省すべきである。ワークシートの内容を改善し、授業時間でやり切れなかった部分は自宅学習で補えるように改善したい。

奈良学園大学